

2012年 年頭所感

全国自動車用品工業会

理事長 西脇 保彦

明けましておめでとうございます。

昨年末に行われました東京モーターショーは前回より多くの観客を集め、成功裡に終了いたしました。ショーのテーマとなりました「世界はクルマで変えられる」を理解した行動をとることが、今年の私たち自動車関連業界の使命かと存じます。ご承知のとおり世界は成熟した先進国と今後の発展が期待される新興国がございます。それぞれの国々の市場に対し、よく把握した上で行動する年であると考えます。我が国の自動車用品業界は、長い年月をかけて様々なアイテムを市場に送り出してまいりました。日本のユーザーの厳しい要求に応え、快適で便利な用品はまさに世界でも有数の豊かな市場をはぐくんでおります。しかしながら、今後成長が期待される新興国市場は、ユーザーがどのような用品を求めかが現段階では明確ではありません。それぞれの国のユーザーに心から満足して頂けるカーライフの実現に向けて、提案し挑戦してゆくことを覚悟して進めたく存じます。

国内の用品につきましても、まだまだやるべき課題は数多くございます。モノづくりの基本であります、「品質・価格・納期」をさらに追及すること、環境、安全、エネルギーに対応すること、また世界に誇れるテクノロジーやITを駆使することにより、クルマの使い方を熟知している既存のユーザーはもとより、クルマ離れといわれる若者に対し、未来に向けたカーライフを発信しクルマへの興味を喚起していきたいと思えます。IT技術の応用の一例といたしましては、スマートフォンを活用した走行に関するソフトが開発されております。カーナビやドライブレコーダー機能を搭載したもの、エコ運転をサポートするソフトなどがあります。スマートフォンの急速な普及が今後のクルマとIT技術に大きな影響を与えることでしょう。

また、業界といたしましては、AAAL（オートアフターマーケット活性化連合）が牽引役となってオートアフターマーケットの魅力をさらに高めるよう努めることが最低条件といえます。今年も実施される「洗車の日」キャンペーンを製販一体となり盛り上げて確実な実績を上げることを決意いたしたく存じます。今年の新車の販売は自動車税制の是正の進展やエコカー補助金などの制度の実行などの施策で変わることが予想されますが、やはり東京モーターショーのにぎわいを新車販売につなげるため、カーメーカーを始め、関連業界が一丸となって、ユーザーの関心

と購買の促進を図る決意が求められましょう。

全国自動車用品工業会といたしましては、エコカーなどクルマの変化に対応し、ユーザーの次世代カーライフへ向けたモノづくり、サービスの提供を通して関連業界の一員としての役割を果たしていく所存でございます。自動車関連業界各団体はもとより、行政機関、マスコミの皆様方の絶大なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。